

H26年建築2級学科試験 問題

No1 換気に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 1 空気齢とは、空気が流入口から室内のある点まで到達するのに要する時間のことである。
- 2 風圧力による自然換気では、換気量は開口部面積と風速に比例する。
- 3 室内外の温度差による自然換気では、給気口と排気口の高低差が大きいほど換気量は大きい。
- 4 換気回数とは、1時間当たりの換気量を室面積で割った値である。

答え--- 4

換気回数は室の容積で割った値である。

No2 結露に関する次の文章中、に当てはまる語句の組合せとして、最も適当なものはどれか。

「空気の含有水分量すなわち（イ）を一定のまま湿り空気の温度を下げると、湿り空気はその（ロ）で飽和状態となり、さらに下げると、その水分の一部は（ハ）して水滴となる。冬季、暖房した室の窓面上に生じる水滴は、このプロセスで形成されたものであり、これを結露という。」

- | | | | |
|---|--------|--------|------|
| 1 | イ=相対湿度 | ロ=露点温度 | ハ=蒸発 |
| 2 | イ=絶対湿度 | ロ=露点温度 | ハ=凝縮 |
| 3 | イ=絶対湿度 | ロ=湿球温度 | ハ=蒸発 |
| 4 | イ=相対湿度 | ロ=湿球温度 | ハ=凝縮 |

答え--- 2

空気の含有水分量（絶対湿度）を一定のまま湿り空気の温度を下げると、湿り空気は露点温度で飽和状態となる。さらに下げると、水分の一部は凝縮して水滴となる。これを結露という。

No3 音に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 1 音が1点から球面状にひろがる場合、音の強さは音源からの距離の2乗に反比例する。
- 2 音は、伝搬の仕方によって、一般に空気伝搬音と固体伝搬音とに分けられる。
- 3 塀などの障壁の裏側に音が回り込む現象は、周波数の高い音の方が起こりやすい。
- 4 同じ機械を同じ出力で2台運転したとき、1台を止めると、音の強さのレベルは、約 dB減少する。

答え--- 3

波長の長い、低い音のほうが障壁の裏側まで回り伝えやすい。

この過去問は受講者専用のページです。
お申し込みされますと全ての過去問がご覧頂けます。
お早目のお申し込みお待ちしております。

受講お申込みはこちらから



<https://www.sekou-net.jp/entry/>